



神戸市会議員



岡田ゆうじ

自由民主党神戸市会議員団市政報告

2023.11

No.50

# 学校の目安箱

現在、子どもや保護者が学校生活で困っていること、悩んでいることなどについて相談するには、学校に直接言うしかありません。しかし**教員の不祥事や部活動における体罰など、学校や担任、校長等に相談しづらい案件**も中にはあります。現在教育委員会に対しては、月平均で6～70件ほどの相談が寄せられているとのことですが、本来の量はもっと多いことでしょう。

**これまで生徒や保護者の声がかきかけとなって、制度の見直しにつながったことが沢山あります。**例えば中学校の卒業式。これまでは高校入試の前に卒業式を行っていましたが、「高校入試後の落ち着いた時期に実施をしてほしい」という声が、中学校の生徒や保護者から複数寄せられ、令和4年度から中学校の卒業式の日程が公立高校の入試前から入試後へと変更されました。

「児童生徒・保護者の声を直接受け止めて、速やかに対応していく窓口が必要だ」。

岡田ゆうじ議員より本年3月1日、予算特別委員会において長田教育長に切に訴え。それを受けて**7月14日から、教育委員会に直接声が届く目安箱「お困りごとポスト」が、設置されることになりました。**

例えばいじめ、不適切な指導など、学校に相談しにくいこと、教育の制度や方針など全市的なテーマ、その他どこに相談すればよいか分からないような内容などについて、**教育委員会に直接訴えることが出来るようになりました。**全国的にも進んだ制度です。

神戸の教育が、生徒・保護者の声に更に積極的に答えていくことができるよう、子ども達が更に安心して学校生活を送ることができるよう、今後も議会の場でしっかり取り組んで参ります。



子どもや保護者の悩みには  
学校の先生には言いづらいことも…

## 教育委員会への直接通報制度について

○分科員 (岡田ゆうじ) 教育委員会のガバナンス改革の議論において、**保護者が置き去りにされている**。困った保護者がいたら、どうしたらいいのか。

ある保護者が、例えば子どもがいじめに遭っているけど、学校の先生に助けてもらえない。例えば金銭的な理由で制服が買えないけど、どこにも相談できない。

**保護者が教育委員会に直接言う機会が全くない**。学校の中だけで解決できない問題というのはあるんです、その象徴が、東須磨の問題でありました。教員の先生同士がけんかするぐらいだから。**保護者の悩みなんか、学校の中で解決できないことのほうが多いんです**。

例えば静岡県の教育委員会の場合は「教職員倫理 110 番」というのがあって、「(問題は) 学校に言わないでください」「この教職員倫理 110 番に全部通報してください」と。教育委員会が前面に立って、窓口になって、何かありませんかと、困ったことありませんかと、直接通報を受け付けています。

寝屋川市でも、「『監察課』は必ず解決します」「何か事件を言ってくれたら必ず解決します」と。大津市は(学校ではなく)市長部局に「いじめ対策室」をつくりました。学校外機関が力を入れて保護者の声を受け付けている。

**教育委員会が保護者から直接意見を受ける、これが神戸の改革で一番欠けている視点だ**と思うんですけども、いかがでしょうか。



岡田ゆうじ

○長田教育長 非常に興味深い課題であるということをご認識させられる御指摘だったと感じております。

監理室、事務局の担当課も含め、今も保護者の方々から御意見や御要望を受け付ける手段というのはございまして、もちろん一定の周知はさせていただいておりますが、それでは**全く保護者に届いていないというのは御指摘のとおりだ**と思いますので、そういった保護者の方々なりから御意見を頂くに当たっての仕組み、あるいは広報・周知ということにつきましましては、**一度根本から考えさせていただきたい**というふうに思います。

長田淳  
教育長

## 実現 「お困りごとポスト」の設置



- ・学校に相談しにくいこと (いじめ、不適切指導など)
- ・教育の制度や方針についての意見・要望
- ・どこに相談すればいいかわからないこと



「お困りごとポスト」へ投稿



「お困りごとポスト」WEB版



神戸のこどもの安全・安心、笑顔を守る！

神戸市会議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-18-20  
TEL : 090-9259-1555 / FAX : 078-330-2335

岡田ゆうじ  
ホームページ  
mail@okadayu.ji.net  
www.okadayu.ji.net

